

令和7年度から使用する  
中学校用、義務教育学校後期課程用及び中等教育学校前期課程用  
教科用図書選定理由書

種 目	選定 発行者	選 定 理 由
国 語	光村	学習の流れやポイントが明確に示されており、見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題解決を図ることが可能な内容となっている。また、ICTの効果的な活用場面が示されるとともに、論理的思考の基礎となる「思考のレッスン」と各領域の単元が効果的に関連付けられており、適切な根拠を基に自分の考えをもち、表現したり交流したりすることが可能な内容となっている。
書 写	光村	「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習展開が明確に示されており、自ら課題を見付け、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。また、「手書きのよさって、何だろう」では、手書き文字のよさについて話し合う活動が設定されるなど、身の回りの文字文化に対する理解を深め、文字文化を大切にしようとする態度を養うことが可能な内容となっている。
社 会 (地理的分野)	帝国	学習の導入では、「写真で眺める」に掲載されたダイナミックな写真や地図帳の活用を促す発問などが掲載されており、学習への意欲を高め、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。また、「雪」に関する資料や、野生動物との共生を目指す札幌市の事例などが掲載されており、北海道や札幌市の特色を捉えることが可能な内容となっている。
社 会 (歴史的分野)	帝国	学習の導入では、各時代の様子が描かれた「タイムトラベル」が掲載されており、自ら疑問や課題をもつことが可能であるとともに、章のまとめにおいても「タイムトラベル」を活用した効果的な振り返りを行うことで、各時代の特色を考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。また、北海道の歴史について、他の地域と比較できる略年表や巻末の歴史年表が掲載されており、北海道の歴史の特殊性について理解を深めることが可能な内容となっている。
社 会 (公民的分野)	帝国	「学習の前に」における導入の場面で、章の問いが設定されるとともに、「アクティブ公民」で他者と協働しながら考察し、判断したことを、根拠を基に適切に表現することが可能な内容となっている。また、特設ページ「18歳への準備」では、ライフプランを基にした金融や、契約に関わる内容が掲載されており、主権者として必要な知識等を身に付けることが可能な内容となっている。

地 図	帝国	北海道地方に関する資料や多様なテーマによる統計資料が豊富に掲載されていることから、北海道や日本の特色を捉えるとともに、国内外の他地域との結び付きに気付くことができるなど、自分たちの住んでいる地域への関心を高めながら学習を進めることが可能な内容となっている。
数 学	教出	「Q」において、学習のきっかけとなる問いが示されるとともに、学習の過程が「? (はてな)」→「! (なるほど)」→「! ? (だったら)」の流れで構成され、学習の過程を意識しながら学びを深めることが可能な内容となっている。また、「もどって確認」や巻末の「学びのマップ」などにより、小学校の内容も含めた既習事項を振り返りながら、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。
理 科	啓林館	学習の導入において、写真資料等が効果的に掲載されており、自ら疑問や課題をもち、仮説を設定し、主体的に課題解決を図ることが可能な内容となっている。また、学習内容と身の回りの事象や日常生活との結び付きを意識できる問いや札幌市に関わる資料が掲載されており、理科を学ぶ意義や有用性を実感することが可能な内容となっている。
音 楽 (一般)	教出	すすんで学び合うための活動例として掲載されている「Active!」を活用することで、曲の特徴を捉え、思いや意図をもって表現を工夫することが可能な内容となっている。鑑賞領域では、曲を比較して鑑賞することにより、音楽のよさなどを見いだすことが可能な内容となっている。また、札幌コンサートホールのパイプオルガンや時計台の写真が掲載されるなど、札幌のよさを生かした学習が可能な内容となっている。
音 楽 (器楽合奏)	教出	箏のページでは、爪のつけ方や親指による基本的な奏法などが分かりやすい角度の写真で解説されており、生徒が模倣しながら基礎的な技能を身に付けることが可能な内容となっている。また、楽器の仕組みや音色などの特徴を比較したり、楽器の背景にある文化や伝統を調べたりすることを通して、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっている。
美 術	光村	表現の題材においては、「鑑賞」→「表現」の学習の流れが分かりやすく示され、「みんなの工夫」や吹き出し等を参考にしながら、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。鑑賞においては、「体感ミュージアム」や日本美術の特集など、作品への興味・関心を引き出す資料が充実している。また、別冊の資料においては、様々な描画材や用具の使い方、発想・構想段階の取り組み方等が掲載され、3年間を通して、必要に応じて活用することが可能な内容となっている。

保健体育	大修館	<p>「今日の学習」「課題をつかむ」「学習のまとめ」という学習展開で構成されるとともに、課題の解決に必要な表やグラフ、コラムなどの資料が豊富に掲載されており、科学的な視点をもって課題を解決し、学んだことを日常生活に生かすことが可能な内容となっている。また、運動やスポーツが心身に及ぼす効果等について理解した上で、体力を高めるための計画を立てて実践につなげるなど、主体的に運動に取り組む態度を養うことが可能な内容となっている。</p>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<p>「問題の発見と課題の設定」から「成果の評価・改善」までの学習の流れと取組例が全ての実習例で示されており、見直しをもって主体的に課題解決を図ることが可能な内容となっている。また、技術とSDGsとを関連させながら、章の学習を振り返る活動を通して、持続可能な社会の構築に向けた実践的な態度を養うことが可能な内容となっている。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<p>学習の導入では、自分の経験を振り返ることから始まる内容となっており、自分の日常生活と結び付けて、課題を設定することが可能な内容となっている。また、多様な他者の存在や家庭生活、地域社会とのつながりに関する資料等が掲載されており、家庭や地域社会について理解を深め、幅広い世代の人々と協力・協働しようとする態度を養うことが可能な内容となっている。</p>
英 語	東書	<p>巻末に掲載されている「Small Talk 即興で伝え合おう」では、単元の学習内容に関連した質問と表現が掲載されており、日常的な話題について、即興で伝え合う練習を積み重ねることが可能な内容となっている。また、社会的な話題について、各単元内のページの下段にある「Activity」を使って、段階的にペアで「話すこと [やり取り]」の練習を行うことにより、重要な英語表現を学ぶことが可能な内容となっている。</p>
道 徳	光村	<p>教材の終わりに示されている「考えよう」では、学習のねらいに迫る問いが掲載されるとともに、「見方を変えて」「つなげよう」など、視点を変えた問いや、学んだことを日常生活とつなげる問いが示されていることで、道徳的価値について多面的・多角的に考えを深めることが可能な内容となっている。また、「いじめ」に関する複数の教材を連続して取り扱うとともに、人権について考える教材やコラムが掲載されており、いじめに向かわない態度や意識を育むことが可能な内容となっている。</p>